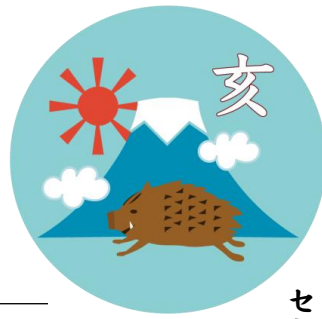


ゆきの灯り

第25号
平成31(2019)年
1月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

明けまして
おめでとーぶーがらいます
センター長 赤木健二



平成最後の正月
を迎え、謹んで新年
のお慶びを申し上
げます。

油木協働支援セ
ンターも3回目の
お正月を迎えまし
た。

さて、旧西川酒店
を借りて改修工事
を進めていました
が、ついに完成し2
月6日に『油木協働
支援センター分室
【にしかわ】とし
て、オープン』の式典
を開催する運びと
なりました。初年度
にアンケート調査
をさせて頂いた時
に、「油木の市場に
誰でも気軽に立ち
寄れる場所が欲し
い」という意見があ
りました。その声を
生かしての事業に
取り組むこととな
ります。

挨拶
新年あけまして
おめでとーぶーがらいます
平成31年1月
神石高原町 李 川上馨

この度一身上の都合
(後期高齢者を過ぎまし
た)により退職すること
になりました。

油木協働支援センター
での期間は2年余であり
ましたが、公民館時代を
含め10年間余り、皆様方
にはご支援ご協力を頂き
大過なく過ごすことが出
来ました、衷心より厚く
お礼申し上げます。

振り返ってみますと、
当初公民館の出動は週3
点に油木を少し変え
ることが出来るかも
しれません。センタ
ーでは、他にも各部
会毎にそれぞれ事業
を展開していますの
で、広報紙「ゆきの
灯り」をご覧頂きた
いと思います。そし
て、ご意見はどしど
しお寄せ下さい。

油木協働支援センター分室 「にしかわ」オープンします

毎週 月・水・金の 11:30~19:30 に開いています。
お気軽にお越し下さい。

- ◆地域の方が自由に立ち寄れる場所としてご利用下さい。
コーヒー(100円)、お菓子・飲料水(実費)があります。
- ◆団体・個人(町内)で利用できます。作品等の展示がで
きます。光熱費実費が必要です。
- ◆小・中・高校生が学習の場・居場所として利用できます。
- ◆生涯学習(ゆきなび)や ゆきキッズクラブの活動を行
います。予定は随時お知らせしますのでご参加下さい。

☆4月より地域おこし協力隊が就任し、西川化石標本の
整理・分類・展示作業を始めます。



2月6日(水) 16:00から
オープニングセレモニーを
行います。詳細は別紙チラ
シを確認ください。

1階フロア・調理室・2階フロアがあります。

油木地区 各自治振興会の高齢者支援の取り組み

振興会	取り組み	左記の取り組みにおいて困っていること	今後の高齢者支援について
城山	自主的に高齢者によるまめまめクラブが行われている。	まめまめクラブへの参加者は限られた人で、特に男性の参加はない。	各班の担当者を選任し、班内高齢者への定期訪問を行う。(現時点では具体的協議は行っていない。)
西油木	11月よりいきいき百歳体操を行う。まめまめクラブ、天神原カフェ。		カラオケ、かたくり、草刈り、慰問等活発に活動しているが、出る人が決まっている。多くの人が参加されるような事を考えるが難しい。振興会として出来る事はバックアップしていきたい。
いちば	いきいき百歳体操を出席者 20名前後で実施。高齢者への弁当配布は利用者が少なくなったことから中止		組単位の高齢者把握と災害時支援。
東油木	民生委員さんが中心になって、緊急連絡先プレートを作られている。75歳以上家庭の定期的な訪問。健康面や詐欺に騙されないよう啓発活動をされている。	部会として協議するが、民生委員さんが唯一の頼り、また民生委員さんの肩書があればこそ、訪問が出来やすい。	10年後が恐ろしい。当面、町のタクシー制度の活用(買い物、病院等のお出かけ) 独居老人→グループホーム、シェアハウス、共同生活、協働菜園など
南ゆき	年1回75歳以上で一人暮らしの家を役員二人で訪問している。訪問することで自治振興会として見守っていることを示すのが狙い。訪問時に役員の携帯電話番号表、関連パンフレットを渡している。		高齢者の割合が急速に増加する見込み。いつまでも支援体制がとれるのか心配。
安田	老人クラブ(百働会)、椿サロン、みのり会への入会の干涉。カフェ喫茶去への参加。(福祉会)	入会すると即、役員となることになる。名前だけでも・・・と入ったら役員!	若者が減り、高齢者が増す中では個人的に支援は困難になる。行政単位で支援するか支援の枠を小さくするしかない。
小野	いきいき百歳体操。健康太極拳教室。まめまめクラブ。	世話をしてくれる人がいるので、何とか運営している。	生涯現役を貫くための支援が必要。地域力が大事。
源流の里 しんさか	ふれあい弁当の配食・カラオケ 1回/月 男の料理教室・福祉弁当の配食・安心カードの配布 1回/年 安否確認活動・買い物支援活動・いきいき百歳体操・グラウンドゴルフ 1回/週 餅の製造配布(希望者)		自助(身体的、経済的)があって、互助が可能と考えられ、その為の公助のあり方。
仙養	救急安心カード等の配布(高齢者及び一人暮らしで心配な世帯)、いきいき百歳体操(李・小吹・忠原・上野)の実施、80歳以上高齢者慰問事業、敬老会行事	手作りの救急安心カードを作成しているため、一度に多数の申込があった場合に時間がかかる。強制的でないで、利用者が少ない。振興会役員のなり手がおらず、敬老会へ招待する側が対象者になる可能性がある。	高齢化率も高くなり、一人世帯も増加。常会の開催や回覧等についても、困難な班、小组も増えつつあり、自治振興会での協議が必要な時期にきている。災害が年々増加傾向にあり、地域での防災計画(高齢者や要支援者の把握と役割分担等)も急務。

高齢者等在宅生活 支援事業専門部会

12月17日に高齢者部会の
会議を行いました。各自治振
興会に依頼していた高齢者支
援についての結果を共有しま
した。結果一覧は上記のとお
り。

油木地区の各自治振興会の
状況が様々であることから、
高齢者支援の取り組みを一律
に進めることが出来ない
再認識したところです。

結果の中には見守り支援事
業を今後前向きに検討してい
きたいという自治振興会もあ
りました。まずは見守り支援
事業に必要な一人暮らし世帯
の情報整理を行っていきま
す。

Miraiyu (未来ユウ)
油木生活百科(ウェブサイ
ト)を開設することが幹事会
で承認されました。

このウェ
ブサイトは
油木住民の
方々から投
稿していた
だく記事に
よって構成
する予定で
す。

こんなウェブサイトに
なります

< ご案内 >
「油木生活百科」投稿募
集についての住民説明会
日時 2月28日(木)
19時~
場所 油木コミュニティ
センター
どなたでもお気軽に
お越しください



食べるの楽しみ (^^)

12月1日(土)の料理教室は、クリスマスケーキを作りました。紙製のカップに生地を流し込み、焼き上がったあと、生クリームやいちごで飾りつけをしました。

ゆきキッズクラブ



3月下旬に行った「移住者の体験を語る会」で慣れない雪道の運転や通行に困ったという移住者の方々の意見が多くありました。そこで凍結危険箇所マップ作りをスタートし、遂に完成。

このマップを見る来る住むMiraijyuで作成するホームページにも挿入して、油木への移住者や移住希望の方々に凍結についての情報を提供します。

チラシは油木協働支援センターで配布しています。とても素敵なチラシになりましたので、雪道運転に慣れている油木の住民の方も手に取ってみて下さいね。



そば粉を混ぜるキッズ

12月8日(土)油木そば打ち同好会の皆さんを講師に迎え、そば打ち体験をしました。初めて体験するキッズもいましたが、講師の皆さんに教わり美味しいそばができました。



総合文化祭 開催

神石高原町文化連盟油木ブロック

12月9日(日)コーラス山びこの合唱を皮切りに総合文化祭が開催されました。皆さん日ごろから練習に励まれ、素晴らしい演技を発表されました。

飛び入り参加のブレンドンさんと酒井さん



ゆきなび 大人の教室

12月3日(月)に2回目的みそ作り教室をしました。大人気のため、急ぎよ2回目を計画し開催しました。

みっちゃん(中平さん)の丁寧な指導のもと作業中



手芸倶楽部 小さな手鞠を作りましょう

日時 2月19日(火)
場所 油木コミュニティセンター
小さな手鞠を作り、ストラップにしましょう。
材料費実費必要です。
お申込み・お問い合わせは油木協働支援センターまで



祝 100



油木協働支援センターのフェイスブックページのいいねが、ついに100を超えました。栄えある100番目は広島市の松崎良祐さん。まちづくり推進課小坂課長に記念品(辛うてこめん)贈呈をお願いしました。200人、100人の方にいいねをしてもらえよう職員一同頑張ります。

平成最後の 初日の出



平成最後の今年、仙養ケ原で「初日を拝む会」が行われました。毎年、町内の人たちが集まり続けて来られ、49回目を迎えられるました。雪のない仙養ケ原でしたが、南の空には高く雲が広がり、山の稜線との間に、少しばかりの空が赤く染まりました。その赤みがだんだんと増す中、赤く燃える円天が空にかかり、輝く初日がその姿を見せました。一心に見つめる私たちに、新年への大いなる希望を抱かせてくれました。新春の致 雲の間に 赤く燃えて 初日の出

2月のゆきキッズクラブ	
2月 2日	(料理教室)
2月 9日	(工作教室)
2月16日	(楽描き教室)



源流の里しんさかの紹介 会長 横山 博則 その一



- 2 高齢者に対する施策
安否確認活動
毎週1回(火、水曜日)
町・郵便事業会社と連携
(H23年11月)
 - 2 買い物支援活動
毎週1回(金曜日)
町・地元事業者と連携
(H23年12月)
 - 3 ふれあい弁当の製造とお届け
毎月1回(第3金曜日)
夕食として400円/1食
(H23年3月)
 - 4 福祉弁当の製造とお届け
年1回(9月)
夕食として源流の里しんさかで負担
(H23年)
 - 5 安心カートの配布
年1回(4月)に交付
原則家庭の冷蔵庫に保管(プラスチック製容器) 対象は全戸
項目:かかりつけ医療機関、診察券番号、病名、薬名、アレルギー、手術歴、血液型、緊急連絡先、その他
(H21年)
 - 6 餅の注文生産
高齢化により家庭で餅をつくことが出来なくなつた為
注文受付:地域内
(白餅、よもぎ餅、豆餅)
時期:正月、旧正月、春・秋の彼岸、秋祭り
- 3 定住対策
急激な人口減少への歯止めと、担い手・働き手の確保
① 外部人材の受け入れ
地域おこし協力隊の受け入れ
(H23年9月~7人)
② 他地域との交流 山と海の交流 年3回「内海町の将来を考える会」と
(H24年1月)

4 生活環境の維持
農地荒廃を防ぐため、農事組合法人「ニューファーム新坂」と連携し取り組んでいるが、構成員(7人)が高齢化し維持が危ぶまれる
H9年に組織化
任意組織
「ニューファーム新坂」
H16年6月に法人化
を紹介しましたが、人口減少、高齢化は歯止めがからず厳しさは増すばかりです。
しかし、地域テーマ「いつまでも、住み続けたいと思える地域」づくりに向かって「組織として出来ることはする」という信念で取り組んでいきたいと思っていますので、多くの皆さんのご支援ご協力をお願いいたします